

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公表番号】特表2003-525050(P2003-525050A)

【公表日】平成15年8月26日(2003.8.26)

【出願番号】特願2001-563611(P2001-563611)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)  
C 07 K 14/22 (2006.01)  
C 12 P 21/02 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A  
C 07 K 14/22  
C 12 P 21/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 N e i s s e r i a m e n i n g i t i d i s タンパク質961の異種発現のための方法であって、

(a) タンパク質961は、MC58株におけるアミノ酸配列961

【化1000】

MSMKHEPAKVLTTAILATFCGALAATSDDDVKKAATVAVVAAYNNNGQEINGFKAGETIYDIE  
DGTITQKDATAADVEADDFKGLGLKKVVTNLTKTVNENKQNVDAKVKAEESEIEKLTTLADTD  
AALADTDAAALOETTNALNKLGENITTFAEETKTNIVKIDEKLEAVADTVDKHAEAFNDIADSLD  
ETNTKADEAVKTANEAKQTAETKQNVDAKVKAETAAGKAAAGTANTAAADKAEAVAAKVTD  
IKADIATNKAIDIAKNSARIIDLKNVANLRKETRQGLAEQAAALSGLFQPYNVGRFNVTAAVGYY  
KSESAVAGTGFRTENFAAKAGVAVGTSSGSSAAHVGVNYEW

を有し、

(b) 該タンパク質における少なくとも1つのドメインは欠失しており、

MC58株における961のドメインは、

- (1) アミノ酸1~23;
- (2) アミノ酸24~268;
- (3) アミノ酸269~307; および
- (4) アミノ酸308~364;

であり、

該961タンパク質は、宿主細胞において発現される、  
方法。

【請求項2】 請求項1に記載の方法であって、タンパク質発現のために融合パートナーが使用されない、方法。

【請求項3】 請求項1に記載の方法であって、前記タンパク質がC末端Hisタグを含む、方法。

【請求項4】 請求項1に記載の方法であって、前記タンパク質がN末端GSTを含む、方法。

【請求項5】 請求項1に記載の方法であって、前記タンパク質961が、ハイブリッ

ドタンパク質のN末端部分である、方法。

【請求項 6】 請求項 1 ~ 5 のうちのいずれか 1 項に記載の方法によって発現された、  
タンパク質。